

ICTの進化とともに歩んで

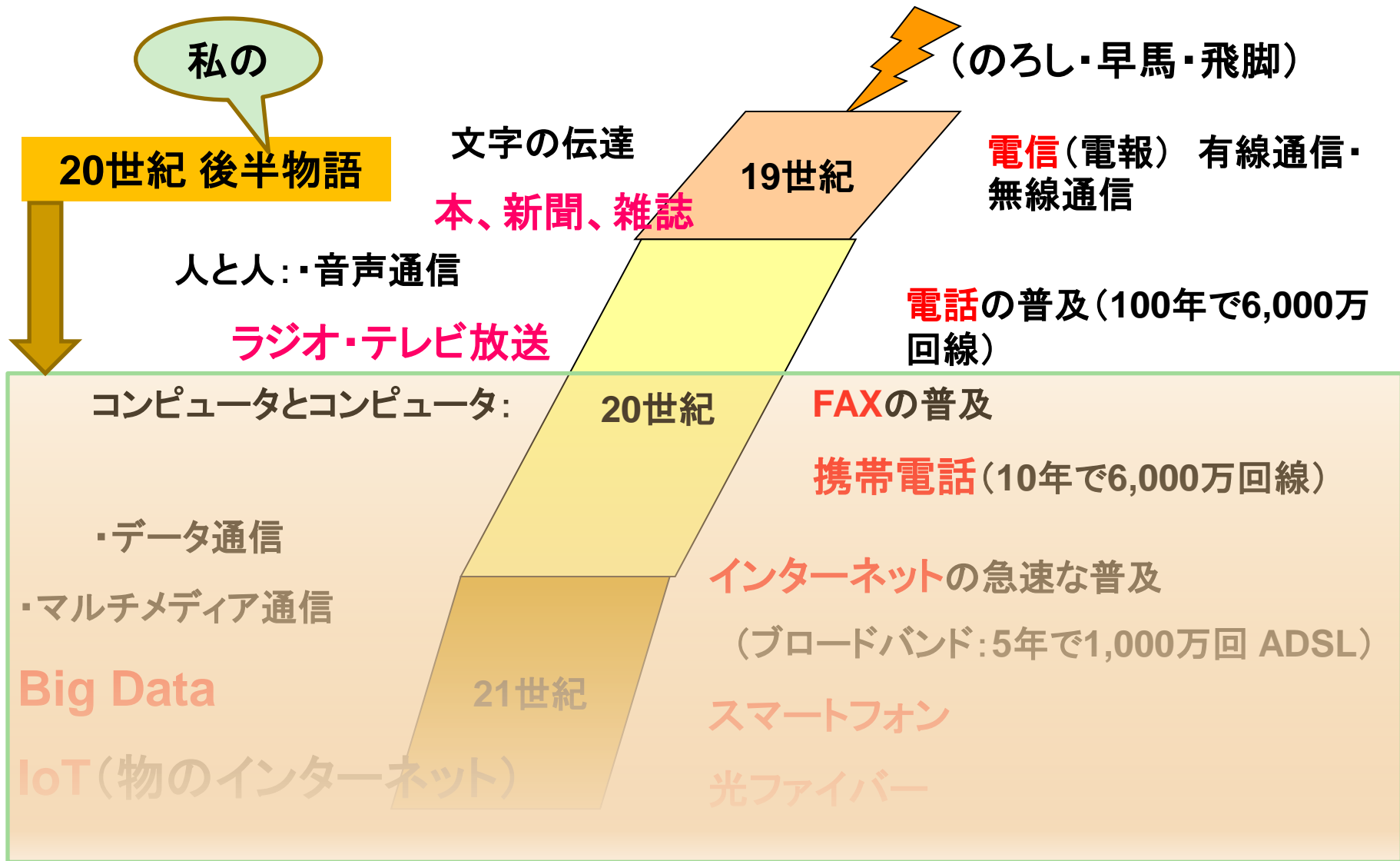
第2章・第3章

大谷大学 文学部人文情報学科
特別任用教授

池田佳幸



情報通信技術 (ICT) の発展 bis



誕生終戦後

父(敬一)

・三重県伊賀にある山村の養蚕農家

長男 ・・農業には大学不要、親は学費出してくれない～(タダで進学できるところに)

・陸軍軍医学校入学(中国満州)

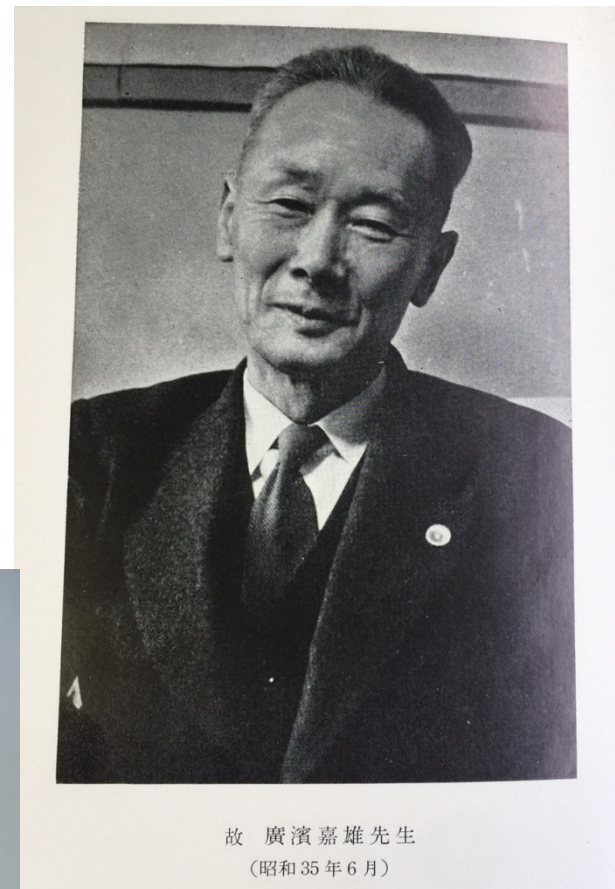
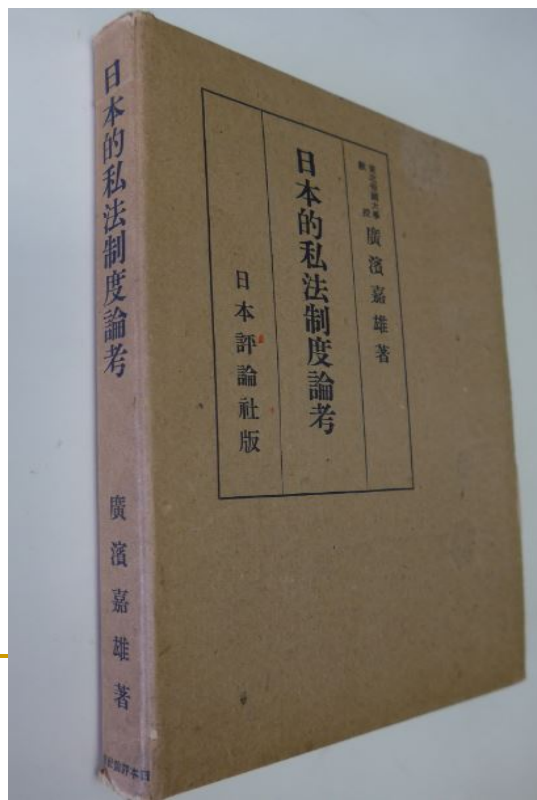
・鹿児島県基地配属(陸軍中尉)、終戦即帰郷、結婚、私が誕生(昭22:ベビーブーム世代)

・京大医学部研修医 (左京区聖護院町に数年間下宿:私も)、病院勤務(愛媛県、滋賀県、広島県)、開業(伊賀市)、地域医療貢献、1993年逝去



母(素子)

・祖父は伊賀の農家出身、師範学校、京大法卒、京大助手、その後、東北大法文学部創設のため教員として赴任、戦後は弁護士。母は伊賀生まれ・仙台育ち、女学校国語教師、現在93歳



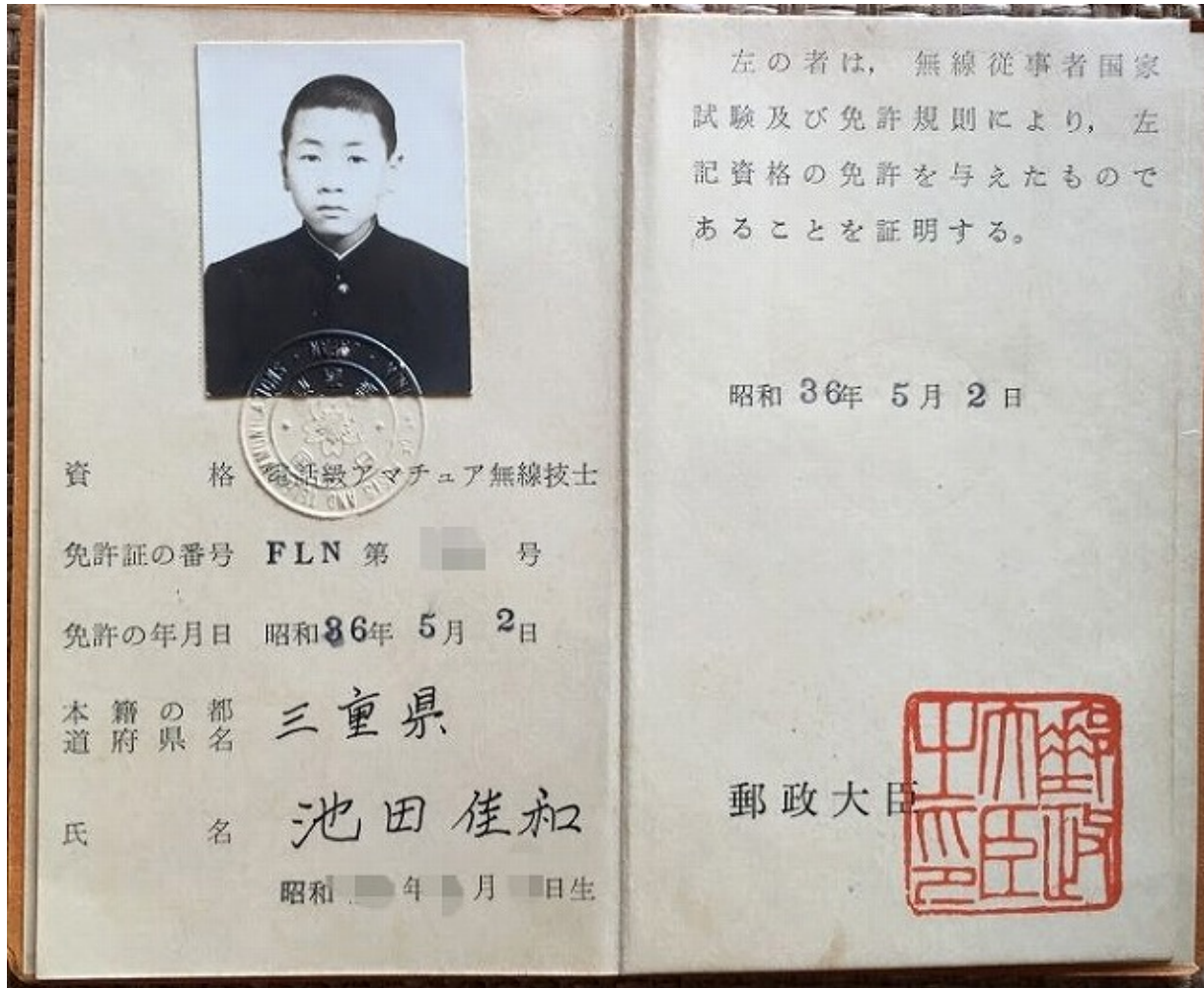
故 廣濱嘉雄先生
(昭和35年6月)

著書多数、ベルリン(ドイツ)留学、絵葉書を毎週家族に郵送

弟子多数

私のICT原点

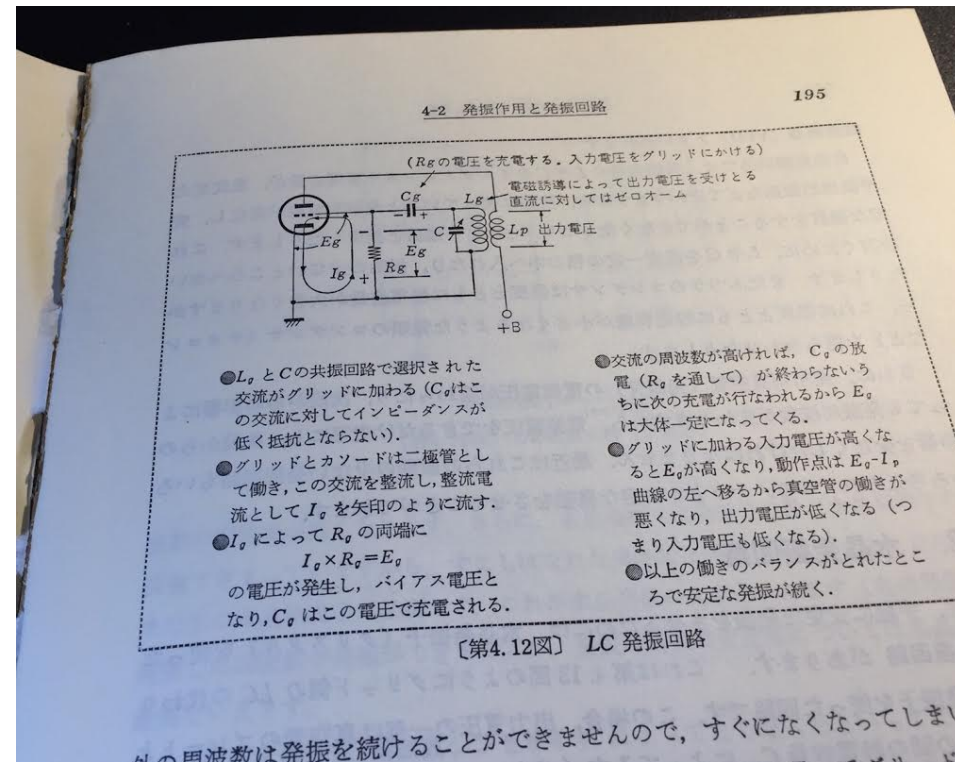
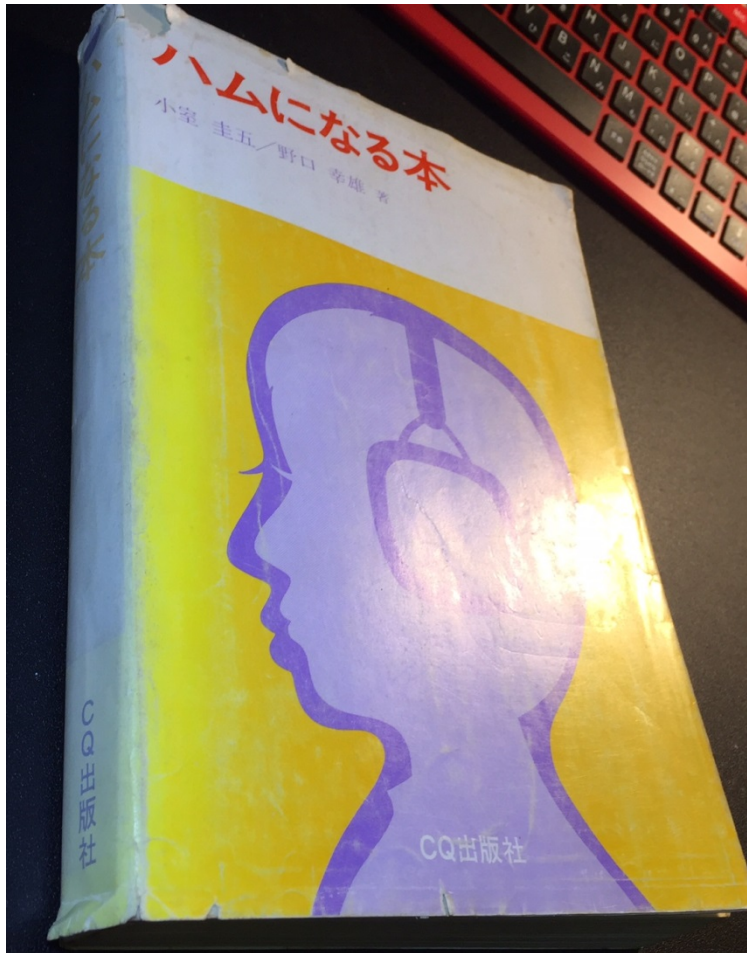
~since 1961



電話級アマチュア無線技士免許 (いまでも有効)
昭和36年5月2日
中学1年生の春
受験は小学6年生の3月

※父親に買ってもらった「ハムになる本」を読んで独習(小5)、
□(円周率)も√(ルート)も小学校では習っていなかった。
JA4BDO 開局(広島県)
JA2DEI 開局(三重県)

参考書

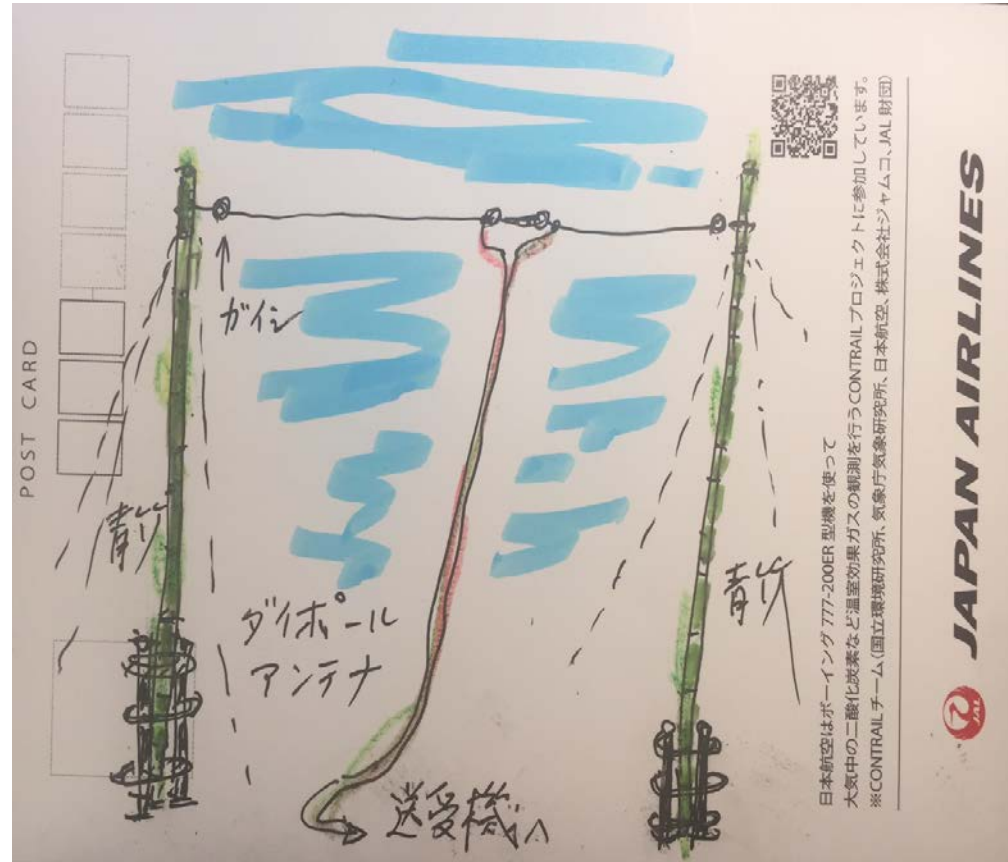


パイ(π)とか、ルート($\sqrt{\quad}$)とか意味不明。
聞く人もいない、ネットもない時代。
まあ、いいか、問題と解き方を丸覚えしよう。
..で、成功！



短波ラジオの自作(5球スーパー式)
 その後、短波送信機も自作(春日電機キット利用:後のトリオ>ケンウッド)
 当時、瀬戸内海沿岸には船の解体屋が幾つかあり、ジャンク部品を目方(キログラム単位)で買うことができた。
 米軍放出通信機、メーターや真空管など。

*** 楽しい中学生時代**
 .. 友達はほとんどいなかったが



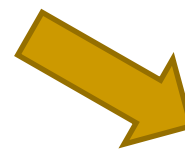
父と一緒に借家前庭に立てた青竹のダイポールアンテナ。短波用(HF)。...その後、VHF(50MHz)の送受信機を作って、八木アンテナを自作(波長が6mなので、エレメントがデカかった)

学歴1

- (湯川秀樹先生の理論物理学に憧れたが...)
- 家庭の事情により京都ではなくて、東京大を受験
- 理科1類は理学部も(とても少ないが医学部も可)進学可能で、2年生の秋に進振
- 地方高校生の**天狗の鼻**は、大学1年最初の学期で脆くも折れ、**工学部志望**に転向

～高校までは～

・愛媛県宇和島市「愛和聖母幼稚園」、滋賀県八日市市「八日市小学校」卒、広島県松永市「大成館中学校」卒、奈良女子大学「文学部附属高等学校」卒



OMG

LOL

OK

オーマイゴッド > ワッハハ
> しゃない、なんとかなるさ

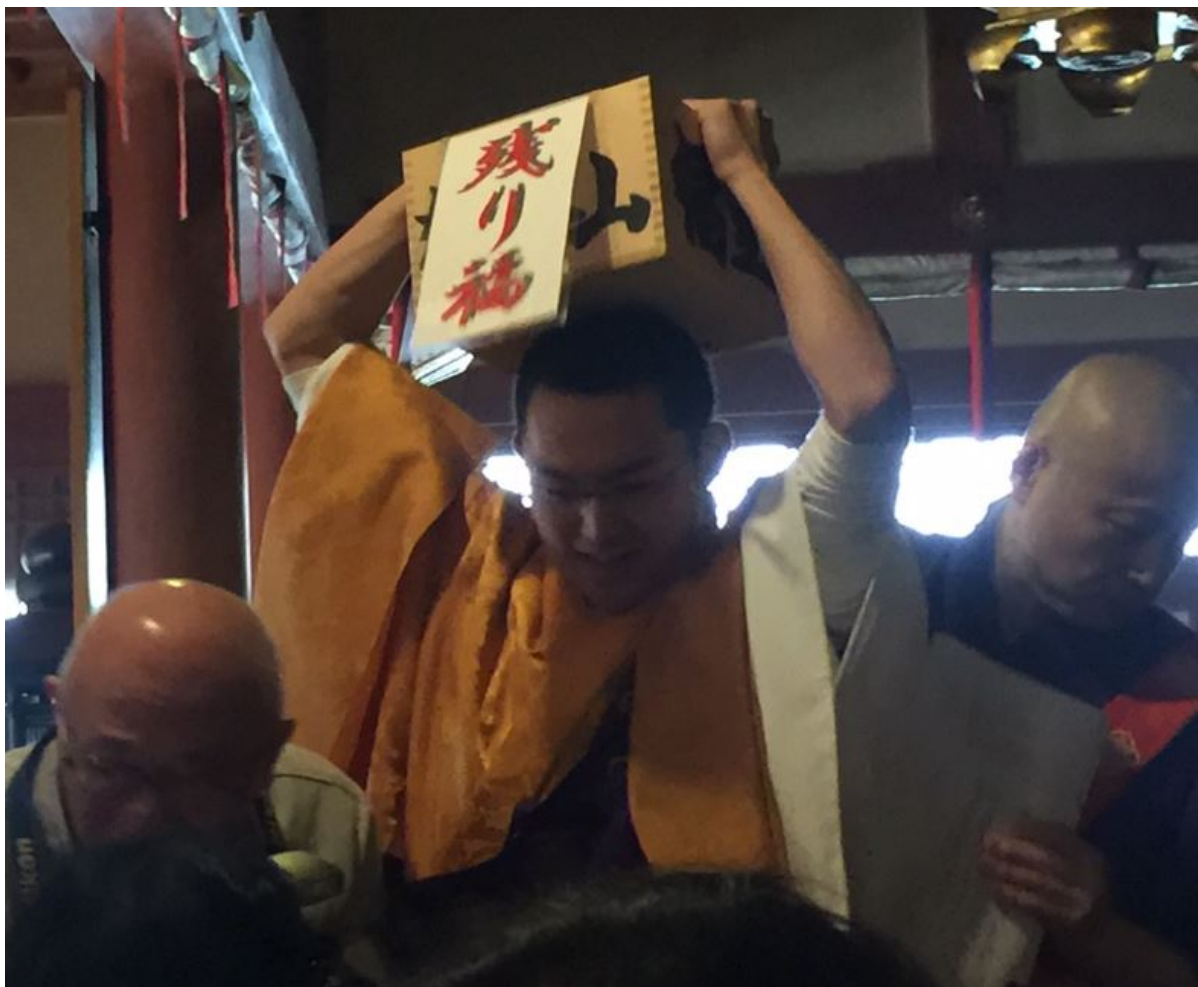
Facebook stamps

<http://www.sankei.com/photo/story/expand/170119/sty1701190020-p1.html>

学歴2

- 学科説明会に来た電気工学科先生の話が面白かったので志願（「電気」の人気は「建築」に次いで高かった）（「情報」系はまだなかった）
- 電気工学科では卒論指導教官に「通信」の先生を選んだ（学科説明に来た先生：尾佐竹徇教授）
- 大学院修士課程に進学。・・博士に行くつもりだったが、M2夏休み中に気が変わって、就職希望に。

* 残り物に、**福**が！ → KDD（国際電信電話（株））

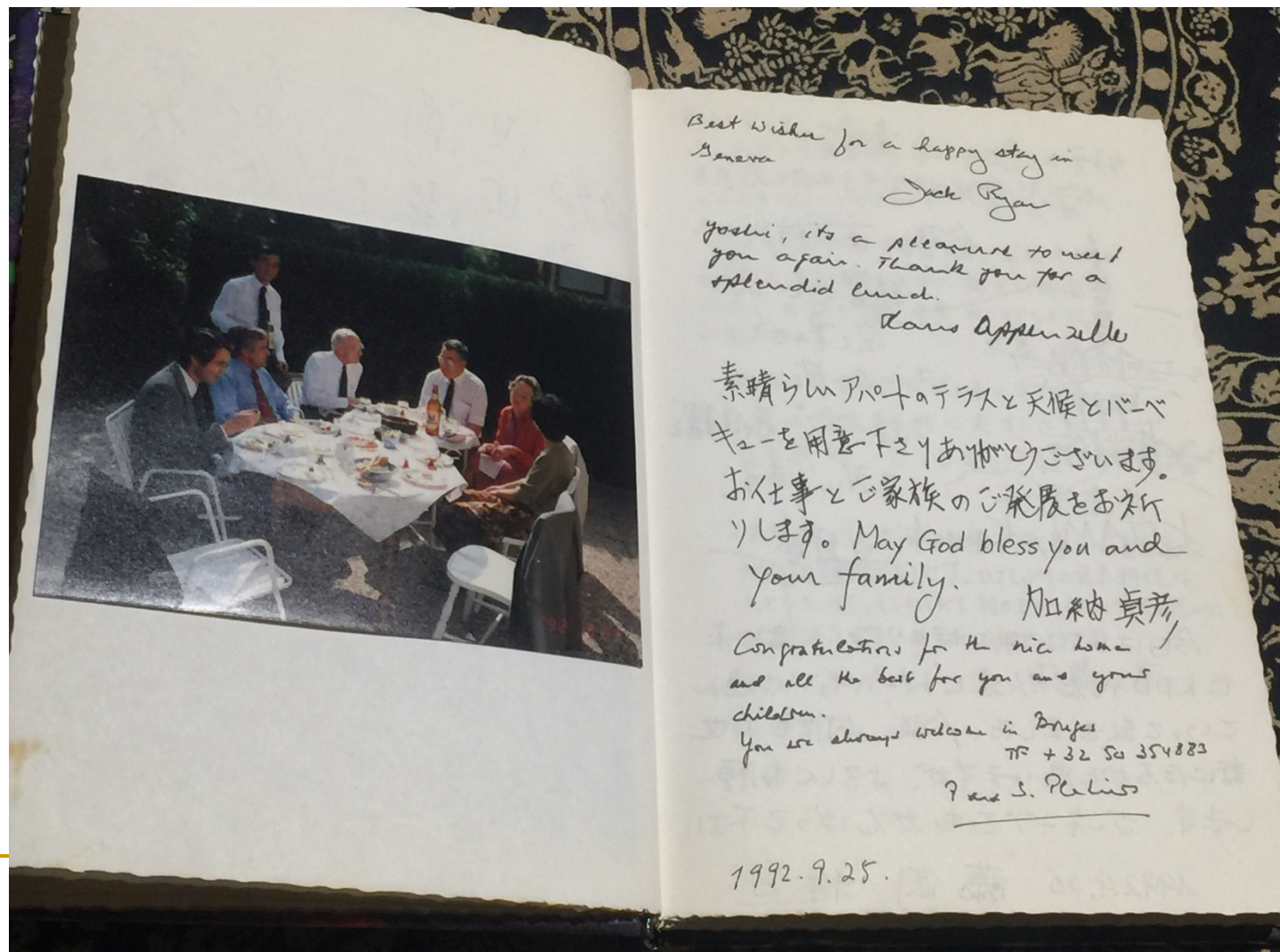


残り福
@狸谷山不動尊
節分会
2017-02-03

国際通信の研究開発 (KDD)

- 国際電話ダイヤル直通化の技術開発
 - それ以前は、国際電話交換手に番号や相手氏名を話して申し込み
 - 国内長距離でもかなりの期間、交換手経由
- 国際標準化＝先進主要国との共同開発 (ITU:国際電気通信連合)
- G6: 米、英、独、仏、伊、日 (ITUの会議議長はベルギー人)・・・持ち回りで各国、3ヶ月毎の開発会議・・・欧米を業務旅行、加えて、ITUの会議6ヶ月毎
- ITU本部のあるジュネーブ(スイス)駐在

ジュネーブ駐在 自宅テラスで会議 参加者とランチ



家宝：
当時のゲスト
ブック

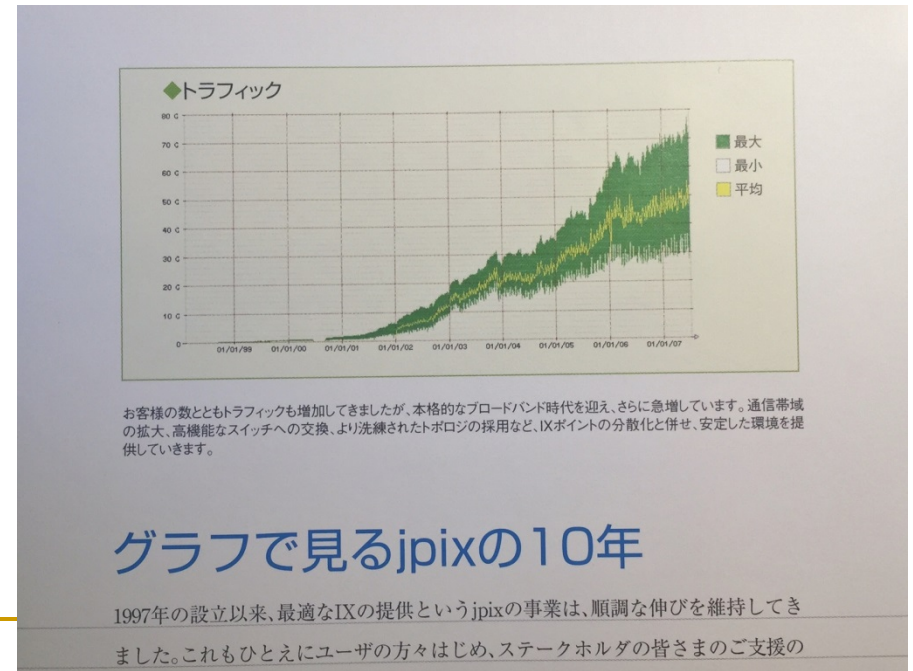


家族旅行
スナップ
背景はアイ
ガー北壁
NorthFace



帰国：電話からデータ通信（インターネット）に転進

- 新規事業開発の担当に（ビル・ゲーツにも会った）
- JPIX（インターネットプロバイダーの相互接続拠点）の創業



企業合併 KDD+DDI=KDDI

■ 転職（KDD執行役員だったが、自分意思）

2点めはコンテンツの問題です。今まではスピードが遅いからあまり魅力的なコンテンツ
イパーを使うということがあります。これにはまだまだ費用がかかります。10年近く前から
に有効に思っています。ADSLの技術は、ここ2、3年で非常に大き

DSLの技術を使うと アクセス部分の値段が 一挙に1桁下がり 使い道と客層が一挙に広がる

特別
インタビュー

池田佳和

(株)アッカ・ネットワークス最高執行責任者(COO)

日本の通信事業技術者のなかでも傑出した実績をもつ池田氏。新事業、DSL (Digital Subscriber Line/ADSLやSDSLサービスなど) への挑戦だ。DSLサービス専門のアッカ・ネットワークスのCOOの池田氏にDSL事業の可能性などについてうかがった。ちなみにアッカ社のACCAだが、「アクセスと言う言葉を短くしたという風に考えてください」とのこと。(編集部)

池田 佳和(いけだ よしかず)
元IPIX社長兼KDD執行役員。29年にわたり日本の国際通信の発展に寄与。最近では、マルチメディアビジネス担当執行役員として、CATVインターネット、VoIP、吉本興業とのコンテンツ事業など、KDDの主要なIP関連新規事業を推進。「インターネット時代」以前は、アナログ電話及びISDN技術者として活躍し、「ISDN検」とき誌本「ISDN応用絵とき読本」などの著書もある。ITUにおいてSS7ネットワーク分科会議長、KDDジュニア事業所長を勤めるなどの国際派。IEEEフェロー(1992-)、東京大学工学部電気工学修士。



創業：湯崎英彦（通産省出身、現広島県知事）

- * NTTコムと米国ADSL事業者(COVAD)の合併
- * 毎週英語で電話会議
- * イー・アクセス、ソフトバンクと競合激化
- * 米国出資者が倒産
- * NTTコムが支援強化

* 小生は退職へ（お前さんはもういない）

東京工業大学の教員公募

21世紀COEプロジェクト
MOT(技術経営)を講
ずる

* 日米合弁スタートアップ企業、MBAを実務で
学習し、散々痛い目にあ
ったことが幸いした!

「人生すべて塞翁が馬」



Rice大学“INNOVATEアジア研修”@NUS



国立情報学研究所 (NII)

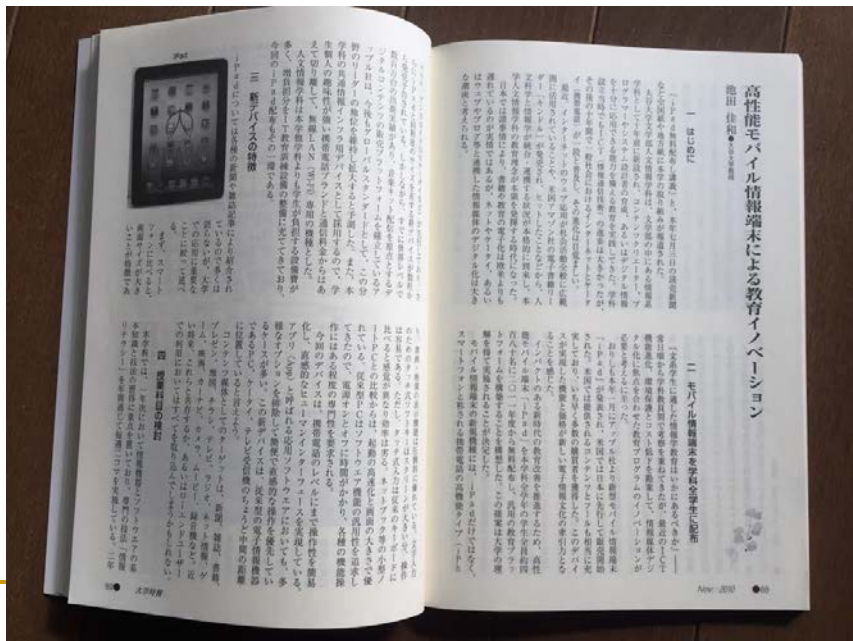
・客員教授として研究活動



カザフスタンの大学にてシンポジウム開催、発表(2007)

大谷大学に着任 (2008年～)

- ・iPadを学科学生全員に配布(2011年)





9年間・・・
104人の卒論学生さんたちと！



ICT 機械化が 日々進んでいる！

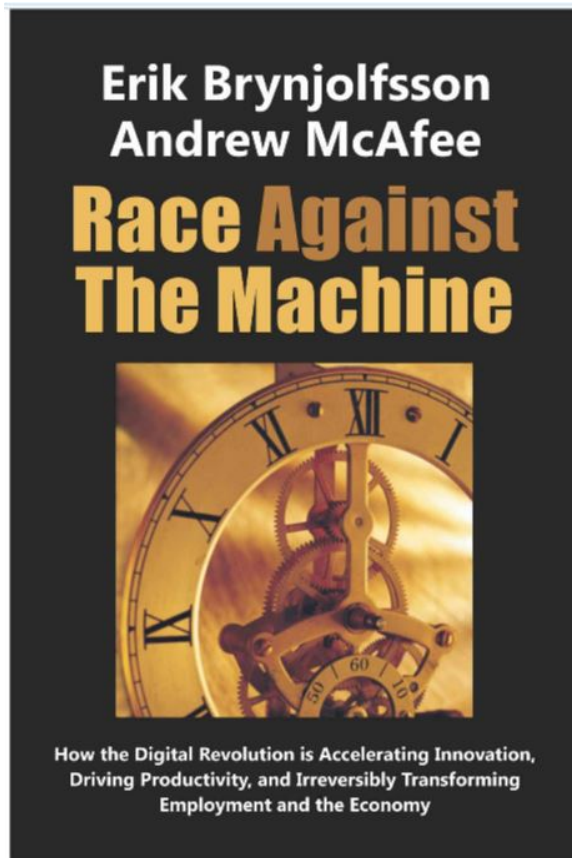


米国ワシントンDCダレス空港 UAの搭乗カウンター

<http://blog.goo.ne.jp/geneve1992/e/4d33082f51598920b09a62dddbc067c5>



機械との競争： 技術革新による失業の第3波



“第三の失業の波は、高等教育を受けた知的労働者の多くが失業する可能性を秘めている”

“現在はコンピュータの発達により、工場労働者ばかりでなく、平均的なオフィス労働者の仕事もどんどんなくなってきている。

このことは銀行のATMや空港の自動改札などを見れば明らかに思える。

それは産業革命で、馬が必要なくなったのと同じことだという”

<http://www.amazon.com/Race-Against-The-Machine-ebook/dp/B005WTR4ZI>

(2011年10月発行)



今は無き3号館と記念写真（2015年3月）

Thank you for your attention

